

芦屋市障がい者（児）福祉計画第7次中期計画評価進捗一覧表（第3節）
基本目標3 適性に応じて能力を発揮し、いきいきと働くことができる環境づくり

資料5－3

1 就労支援の充実（1）障がいのある人の雇用機会の拡大

番号	取組	内容	所管課	方向性	進捗状況（令和3年度～令和5年度）	目標の達成	理由（「予定より遅れている」「着手できていない」を選択した場合のみ）
1	就労に関する企業啓発活動の推進	○阪神南地域での障害者雇用・就業ネットワーク会議において、市内外の就労系の事業所との意見交換やハローワーク西宮との連携を図ります。 ○市役所を含めた市内企業に対して、障がいのある人の雇用の周知・啓発を行います。 ○本市の制度である障害者雇用奨励金の利用促進に努め、障がいのある人の雇用機会の増大及び長期雇用の促進を図るとともに、広報紙等により広く障がいのある人の雇用についての周知・啓発を行います。	障がい福祉課 地域経済振興課	充実	（障がい福祉課） ・毎年、障害者雇用・就業ネットワーク会議を開催し、就労における情報共有を図っている。 （地域経済振興課） ・労働相談にて障害年金の受給相談を実施している。 ・障害者雇用奨励金の周知を市ホームページで行っている。	予定どおり進行中	
2	重度障害者多数雇用事業所への支援	障がいのある人の雇用の場を確保するため、重度障害者多数雇用事業所を運営する阪神友愛食品株式会社（コープこうべ及び兵庫県、阪神7市1町の共同出資会社）への運営支援を行います。	障がい福祉課	継続	・阪神友愛食品株式会社の株式を保有し、株主総会へ出席するなど運営を支援し、障がいのある人の雇用の場の確保に務めている。	予定どおり進行中	
3	障害者雇用奨励金支給制度の実施	障がいのある人の雇用機会の増大を図るため、継続して障がいのある人を雇用する事業主に対して、一定期間その賃金の一部を助成します。	地域経済振興課	継続	助成件数及び助成額 └令和3年度 3件 180,000円 └令和4年度 3件 180,000円 └令和5年度 2件 120,000円	予定どおり進行中	
4	福祉的就労の場の確保	○一般就労の困難な障がいのある人が、福祉的就労の場（日中活動の場）を確保できるよう、サービス提供事業所との連携を図ります。 ○地域活動支援センター等については、障がいのある人の地域生活を支援する上で重要かつ多様な役割を担っていることから、国・県の動向を踏まえながら、運営費の補助を行います。	障がい福祉課	継続	・一般就労の困難な障がいのある人が、福祉的就労の場（日中活動の場）を確保できるよう、引き続きサービス提供事業所との連携を図っていく。 ・地域活動支援センター等については、障がいのある人の地域生活を支援する上で重要かつ多様な役割を担っていることから、運営費の補助を行っていく。	予定どおり進行中	
5	保健福祉センターにおける雇用の場の確保	保健福祉センターにおいて、就労支援カフェ（就労継続支援B型）「カシュカシュ」の運営支援、館内の清掃作業等において、障がいのある人の雇用の場を提供します。	地域福祉課 （障がい福祉課）	継続	・就労支援カフェ（就労継続支援B型）「カシュカシュ」の運営支援は継続実施している。館内清掃は、木口福祉財団との協議のうえ、障がいのある人の就労の場を確保し、清掃技術習得の場となるよう継続的に実施している。	予定どおり進行中	
6	インターンシップの実施	芦屋特別支援学校の実習生を受け入れ、就労に繋がるよう職場体験の場を提供します。	障がい福祉課	継続	・平成21年度より毎年、芦屋特別支援学校の実習生を受け入れ、職場体験を通じて就労に繋げる体験を提供している。	予定どおり進行中	
7	就労支援員の配置	保健福祉センター内の阪神南障害者就業・生活支援センターに就労支援員を常勤で配置し、関係機関との連携を行い、障がいのある人の就労促進を図ります。	障がい福祉課	継続	・保健福祉センター内の阪神南障害者就業・生活支援センターに就労支援員を常勤で配置している。	予定どおり進行中	

芦屋市障がい者（児）福祉計画第7次中期計画評価進捗一覧表（第3節）
 1 就労支援の充実（1）障がいのある人の雇用機会の拡大

番号	取組	内容	所管課	方向性	進捗状況（令和3年度～令和5年度）	目標の達成	理由（「予定より遅れている」「着手できていない」を選択した場合のみ）
8	授産品販売コーナーの設置	○市内事業所等の授産品について、市役所及び保健福祉センター等において定期的に販売コーナーを設置し、販売経路拡大のための支援を行います。 ○障害者優先調達推進法の施行に伴い、市内事業所の仕事内容を庁内へ周知を図り、優先発注等の増加を促進します。	障がい福祉課	継続	・コープこうべの店舗内の空きスペースを利用し授産品を販売する「つながるマルシェ」を実施し、授産品を通して障がい理解の啓発に努めている。 ・令和5年度より、市内の障がい福祉サービス事業所利用者等から幅広く作品を集めた「障がい児・者作品展」にて授産品の販売を行っている。 ・令和5年度保健福祉フェアにて授産品の販売を行った。（令和3～4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、保健福祉フェア自体が中止となった） ・優先発注の対象の障がい者就業事業所のリストを作成し、契約検査課を通じて庁内に周知することで、発注の増加の促進に努めている。また、特定随意契約の内容（委託等の内容、相手方、発注課等）を市ホームページにて公表している。	予定どおり進行中	
9	市役所内カフェにおける障がい者雇用及び授産品等の販売の実施	市役所北館1階のカフェスペースにおいて障がいのある人の雇用及び市内障がい福祉サービス事業所等で作られた授産品の販売を実施します。	障がい福祉課 総務課	新規	・令和5年5月に事業者の変更があり、授産品について、常設販売のほかにイベント「ふくしパフェ」にて販売を毎月開催している。また、B型利用者の就労に加え、見学・体験就労も実施している。	予定どおり進行中	
10	チャレンジド雇用の実施	障がいのある人の短期雇用を実施することにより、本人の就労に係るスキルの向上、庁内における障がいに対する理解促進を図ります。	障がい福祉課 人事課	充実	障がいのある人の雇用を促進するために、短期雇用に限定せず、人事課にて障がい者枠として会計年度任用職員の採用を実施し、庁内で障がいのある人も共に働くことにより、職員の障がい理解を深めることができている。	課題達成	
11	障がいのある人の採用	障がいのある人を短期雇用にこだわらず、常勤職員・会計年度任用職員として採用します。	人事課	新規	法令上の雇用率を達成できるよう取り組んでいる。 令和3年度 正規職員20人 会計年度任用職員 22人 雇用率 2.60%（法令上の雇用率 2.60%） 令和4年度 正規職員16人 会計年度任用職員 25人 雇用率 2.94%（法令上の雇用率 2.60%） 令和5年度 正規職員15人 会計年度任用職員 27人 雇用率 2.68%（法令上の雇用率 2.60%）	予定どおり進行中	

芦屋市障がい者（児）福祉計画第7次中期計画評価進捗一覧表（第3節）
 基本目標3 適性に応じて能力を発揮し、いきいきと働くことができる環境づくり

1 就労支援の充実（2）就労への支援

番号	取組	内容	所管課	方向性	進捗状況（令和3年度～令和5年度）	目標の達成	理由（「予定より遅れている」「着手できていない」を選択した場合のみ）
1	公共職業安定所等との連携	障がいのある人の就労先の確保から就労後も安定して働き続けられるよう、就労支援の充実を図るため、西宮公共職業安定所等との連携を強化します。	障がい福祉課	継続	・西宮公共職業安定所に自立支援協議会の委員として就労支援の観点から意見をいただいている。 ・毎年、障害者雇用・就業ネットワーク会議において、就労における情報共有を図っている。	予定どおり進行中	
2	知的障害者能力開発センターの紹介	障がいのある人の就労に向けた訓練の場を確保するため、知的障害者能力開発センターの紹介を行っています。	障がい福祉課	継続	・窓口で募集案内を設置し周知に努め、相談に応じて適宜紹介をしている。	予定どおり進行中	
3	身体障害者高等技術専門学校及び職業能力開発校等の紹介	技能・技術者として、社会活動への参加を促進し、障がいのある人の職業の安定化を図るため、職業人として自立を目指す障がいのある人に対し、能力と適正に応じた職業訓練を受けることができるよう、職業訓練校等の紹介を行います。	障がい福祉課	継続	・窓口以案内冊子を設置し、相談に応じて適宜紹介をしている。	予定どおり進行中	

芦屋市障がい者（児）福祉計画第7次中期計画評価進捗一覧表（第3節）
 基本目標3 適性に応じて能力を発揮し、いきいきと働くことができる環境づくり

2 多様な社会参加の場・生きがいの場の充実

番号	取組	内容	所管課	方向性	進捗状況（令和3年度～令和5年度）	目標の達成	理由（「予定より遅れている」「着手できていない」を選択した場合のみ）
1	障がいの有無に関わらず交流できるイベントの開催（再掲）	新型コロナウイルス感染症を機に、これまで実施してきた「ふれあい市民運動会」等の事業を見直し、芦屋市新型コロナウイルス感染症対策公共施設利用ガイドラインに則った事業を検討・実施していきます。	障がい福祉課	新規	・芦屋大学のボランティアサークル及びリードあしやと協働し、障がいの有無や世代に関わらず交流を図ることができるような新たなイベントの開催を検討した。その結果、令和6年に「春の健康ぽかぽか運動会」を開催することが決定した。 ・障がいのある人もない人も参加できるイベントを実施する市民団体などに対し、協力・支援している。 ・コープこうべの店舗内の空きスペースを利用し授産品を販売する「つながるマルシェ」を実施し、授産品を通して障がい理解の啓発に努めている。	予定どおり進行中	
2	障がいの有無に関わらず交流できる居場所の周知（再掲）	市内外で障がいのある人もない人も集うような居場所を見出し、障がいのある人等に周知していきます。	障がい福祉課	新規	・令和4年度に、当事者からの問題提起を受け、自立支援協議会専門部会にて障がいのある人の居場所「つむぐ広場」を立ち上げた。 ・令和5年度に芦屋市みんなにやさしいお店登録事業（合理的配慮の提供を行う市内店舗等を登録しSNS等で周知することによって、障がいのある人の社会参加を支援する事業）を開始し、登録店舗を当該事業のInstagramにて紹介している。 ・令和5年度のあしやねっとのサイトリニューアルに伴い、障がいのある人の居場所の記事を掲載し、周知を行う予定。	予定どおり進行中	
3	各種スポーツ大会等の周知及び参加支援の推進	障がいのある人のスポーツ活動及び競技スポーツの振興を図るため、兵庫県が実施する各種スポーツ大会や全国スポーツ大会、車いすマラソン大会等の周知と参加支援を推進します。	障がい福祉課	継続	・各種スポーツ大会等の開催案内を受け、窓口へのチラシの設置やポスターの掲示を行い、大会の周知を図っている。	予定どおり進行中	
4	障がい児・者の芸術作品等の発表機会の創出	障がいのある人の文化・芸術活動を促進するため、保健福祉センター等で開催する障がい児・者作品展について、市民への広報や運営などの支援を行います。障がい児・者作品展に限らず、障がい児・者による芸術作品等の発表機会を創出していきます。	社会福祉協議会 障がい福祉課	充実	・市内の障がい福祉サービス事業所利用者等から幅広く作品を集めた「障がい児・者作品展」を開催している。会期終了後は、市役所本庁舎内や市内店舗等にて展示を行い、普段障がいのある人と接点がない人にも、障がいのある人の活動について知ってもらうきっかけを提供している。また、開催期間中に、市内の授産事業所の授産品販売会も同時開催した。	予定どおり進行中	
5	障がいのある人の生涯学習活動の振興	○障がいのある人の自主的な学習活動を推進するため、障がいのある人の学習の場である「阪神南青い鳥学級」「阪神南くすの木学級」の開設及び周知を行います。 ○障がいのあるなしにかかわらず、誰でも参加できるしょうがい者とのスポーツ交流ひろばの実施等スポーツ教室の開催支援を行います。 ○障がいのある人が、様々な行事に参加し、社会参加の促進を図るため、市主催の行事・イベントや講演会など、各種文化活動等へ、手話や要約筆記奉仕員等の派遣を行います。	公民館 社会福祉協議会 スポーツ推進課 障がい福祉課	継続	（公民館） ・阪神南青い鳥学級南支部 └ 令和3年度 芦屋教室を実施 本市から6人参加 └ 令和4年度 尼崎教室を実施 本市から4人参加 └ 令和5年度 西宮教室を実施 本市から5人参加 ・阪神くすの木学級 └ 令和3年度 伊丹教室を実施 本市から参加者なし └ 令和4年度 芦屋教室を実施 本市から4人参加 └ 令和5年度 川西教室を実施 本市から参加者なし （社会福祉協議会） ・公民館主催の「阪神南青い鳥学級」「阪神南くすの木学級」の開催に協力し、ボランティアの調整等を行っている。 ・しょうがい者とのスポーツ交流ひろばを月に1回実施している。 ・身体障がい者福祉協会視覚部会が開催するスマホ教室の運営に協力している。 （障がい福祉課） ・阪神南青い鳥学級の広報活動を行っている。 ・手話通訳、要約筆記について、市の派遣事業の対象外の依頼については、社会福祉協議会のボランティア派遣を紹介した。 （スポーツ推進課） ・偶数月の第3火曜日にしょうがい者とのスポーツ交流ひろばを開催している。	予定どおり進行中	
6	社会教育施設等の整備・改善	障がいのあるなしにかかわらず誰でも安全に施設を利用できるよう、バリアフリー化の進んでいない施設について、計画的にバリアフリー化を進めます。	国際文化推進課	継続	・主な社会教育施設について、車いす用トイレやスロープの整備を行うなど、計画的にバリアフリー化を進めている。	予定どおり進行中	

芦屋市障がい者（児）福祉計画第7次中期計画評価進捗一覧表（第3節）
 2 多様な社会参加の場・生きがいの場の充実

番号	取組	内容	所管課	方向性	進捗状況（令和3年度～令和5年度）	目標の達成	理由（「予定より遅れている」「着手できていない」を選択した場合のみ）
7	障がいのある人のスポーツへの参加	芦屋市スポーツ推進実施計画《後期》に基づき、障がいのある人がスポーツに参加しやすい環境づくりに取り組みます。	スポーツ推進課	継続	・障がいのある人がスポーツに参加しやすい環境づくりについて、スポーツ推進審議会で検討を行っている。	予定どおり進行中	